

室崎益輝の功績を振り返る

(前) 災害復興制度研究所所長

0 はじめに

1 復興

災害後の復興のあり方について
大局を見失わない復興を
復興まちづくりの現状と課題——震災からの再生に向けて
東日本大震災からの復興についてのメモ
未来につながる真の復興を目指して

2 復興に関わる諸問題

「高台移転」は誤りだ——本当に現場の視点に立った復興構想を
生活再建支援法の再改正の意義と課題
阪神・淡路大震災後の住宅再建と居住問題

3 火災

大洋デパート火災と避難行動調査

4 防災まちづくり

災害と京都のまちづくり
東日本大震災に学ぶ自治体の在り方
東京都の地域防災計画はどうあるべきか
都市防災の現状と課題——次の災害に備えて
大震災…大学は何ができるか



略歴

室崎 益輝（むろさき・よしてる）

1944年8月、尼崎市生まれ。2008年より2013年3月まで関西学院大学災害復興制度研究所長。

1967年3月、京都大学工学部建築学科卒業。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、消防庁消防研究センター所長を経て、2008年より現職。日本火災学会賞、日本建築学会賞、都市住宅学会賞などを受賞。京都大学防災研究所客員教授、日本火災学会会長、日本災害復興学会会長、中央防災会議専門委員、人と防災未来センター上級研究員、海外災害援助市民センター副代表、ひょうご震災記念21世紀研究機構副理事長、ひょうごボランティアプラザ所長などを歴任。著書に、「地域計画と防火」「危険都市の証言」「建築防災・安全、大震災以後」など。